

会議録

会議の名称	令和5年度第1回ふじみ野市男女共同参画推進審議会			
開催日時	令和5年6月29日（木） 開会時刻 午後1時30分 閉会時刻 午後3時30分			
開催場所	ふじみ野市役所本庁舎3階A301会議室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	会長	大河内 玲子	委員	丸山 昇
	委員	池田 美帆	委員	吉澤 紀子
	委員	尾山 みゆき	事務局	粕谷 直樹
	委員	笠谷 隆久	事務局	宮内 弥生
	委員	加藤 康弘	事務局	嶋田 恵子
	委員	工藤 陽介	事務局	大野 みち代
	委員	島村 かほる	事務局	水上 博子
会議の議題	(1) ふじみ野市第2次男女共同参画基本計画 実施報告・事業計画について (2) 審議会等の女性の登用状況調査の結果等について (3) 第2次男女共同参画基本計画 計画の見直し方針及びスケジュールについて (4) 市民意識調査（アンケート）について (5) 職員意識調査（アンケート）について			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由	-			
傍聴人の数	0人			
会議の内容	別紙のとおり			
会議資料	(1) 第2次男女共同参画基本計画進捗状況報告書（令和4年度実績報告・令和5年度事業計画） (2) 審議会等の女性の登用状況調査の結果等について (3) 女性情報誌「燦」No.27 (4) 第2次男女共同参画基本計画策定（見直し）方針 (5) 第2次男女共同参画基本計画見直しスケジュール (6) 男女共同参画に関する市民意識調査 (7) 男女共同参画に関する職員意識調査			
事務局	市民生活部 市民総合相談室			
議事の確定	確定年月日	令和5年7月13日		
	記名押印 又は署名	役職名 ふじみ野市男女共同参画推進審議会会長 大河内 玲子 印		

発言の要旨

発言者	発言の要旨
事務局	<p>1 開会</p> <p>本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。ただいまより、令和5年度第1回ふじみ野市男女共同参画推進審議会を開催いたします。本審議会は9名の委員にご出席いただいております。委員の過半数を超えておりますので審議会は成立しております。なお、傍聴者はいません。はじめに本審議会に市長より諮問がございます。</p>
市長	<p>2 諮問</p> <p>ふじみ野市男女共同参画推進審議会 会長 大河内玲子 様 ふじみ野市第2次男女共同参画基本計画の見直しについて諮問いたします。</p> <p>1. 諮問事項 ふじみ野市第2次男女共同参画基本計画の見直しについて</p>
事務局	<p>高畑市長より、あいさつさせていただきます。</p>
市長	<p>皆さんこんにちは。本日は男女共同参画推進審議会に大変お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。ふじみ野市では平成27年に男女共同参画推進条例を制定いたしました。さらに平成30年度には第2次男女共同参画基本計画を策定し、自分で生き方を選びその選択が認められる社会の実現を目指し、全庁的な取り組みを推進してきたところです。</p> <p>しかしながら、ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、さまざまな事業の中止や見直しを余儀なくされながらの事業展開が続いてきたところです。また私たちを取り巻く環境も大きく様変わりしてきている状況です。</p> <p>このたびご審議をいただく計画の見直しにつきましては、新型コロナウイルス感染症により変化した社会情勢や、新たな法整備等の動向を踏まえ、希望を抱けるような、未来を見据えた計画とすべく高い識見を有する皆様の英知を結集いただきながらご審議いただきたいと考えています。</p> <p>新型コロナウイルスにつきましては、医学的知見が乏しい状況の中で、誰もが感染力の強さに恐れていました。3年以上の時を経て医学会でもさまざまなエビデンスが認識されてきたところです。ようやく落ち着きを見せている中でウイルスが変異を繰り返</p>

	<p>しており、オミクロンやデルタといった大きな変異と共に派生型のものなど1週間単位で細かい変異を続けているということです。感染力は依然として強いですが、重症化の確率が落ちてきましたし、濃厚接触者の定義も無くなり、3月13日から国の方針がマスクの着用は個人の判断に委ねることになり、私は率先して外さなければいけない立場になりました。しかし、接近した距離で会話をおこなうことになると、予防的にマスクを着用しなければならず、マスクをポケットに忍ばせているのが実情です。コロナ感染による救急搬送はほぼ見られなくなってきた状況です。しかし、完全終息していない状況ですので、予防はされながら、ご活躍を期待するところです。</p> <p>男女共同参画社会を構築していくことは重要なことだと思っておりますので、引き続きのお力添えをお願いするとともに、今後ますますのご健勝にてのご活躍を祈念いたします。皆様どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>市長は公務のため、退席させていただきます。 皆様には、諮問書の写しを配布いたします。</p>
大河内会長	<p>3 会長あいさつ</p> <p>男女共同参画の問題は多岐にわたっていて、女性の問題、子ども問題、就労の問題などすべてに男女共同参画に関連しています。今週発表されたジェンダーギャップをみても日本は125位でまた下がりました。生活している実感として日本がそれほど自分たちは虐げられているという気持ちはなく暮らしているのではないかと思うのですが、特に健康の面や教育の面では（男女共同参画に関する意識は）高いですが、政治面では低いです。また、気になっていないが、女性が外に出ていくことができないといった隠れた問題もあると思います。それらすべてが関係したジェンダーギャップ指数であると改めて感じながら、今回の見直で男女共同参画が推進できるような社会を目指して皆さんと取組んでいきたいと思っております。</p>
事務局	<p>議題に入る前に、市民生活部長よりあいさつを申し上げます。</p>
粕谷部長	<p>本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。 本市では第2次男女共同参画基本計画を平成30年に策定し、「誰もが自分らしく活躍する街ふじみ野」の実現に向けて、さまざまな施策を実施してまいりました。来年度は男女共同参画基本</p>

	<p>法の施行から25周年となります。25年間でさまざまな法整備が進められてきました。LGBT法も可決成立したところですが、同時にジェンダーフリーやジェンダーバッシングといった言葉も生まれてきました。しかし、近年ではジェンダーについて改めて考える機会も多くなっていると思います。ジェンダーに向けた機運の高まりを感じるところでもあります。</p> <p>昨年度、ふじみ野市でもパートナーシップ宣誓制度を7月に開設しました。今のところ、7組の方の手続きが完了しています。このような方々については新しい一步を踏み出されたことと思います。本市におきましても今後とも全庁挙げてLGBTQの方々が自分らしく活躍する場所の実現に取り組んでいるところです。</p> <p>この審議会は年に1度開催しているところですが、今年度は第2次男女共同参画基本計画の見直しを行うことから、ご多忙のところ恐縮ですが3回会議を予定しています。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の拡大を起因とした、家事育児の負担が女性に集中していることや、女性が職を失いやすい傾向にあることが明るみになっています。令和4年5月、困難な問題を抱える女性支援に関する法律が公布されて、市町村には支援の実現に向けて基本的な計画を定める努力義務が課せられています。このようなことを踏まえて、見直しを図っていきたいと考えていますので、貴重なご意見を賜りますようよろしくお願いいたします。</p>
事務局	【事務局職員自己紹介】
事務局	それでは議事に移ります。議長は規定により会長にお願いします。
大河内会長	4 議事 議題（1）第2次男女共同参画基本計画実施報告・事業計画について事務局より説明を求めます。
事務局	【資料1を用いて説明】
大河内会長	質疑をおこないます。質問のある人は挙手をお願いします。
丸山委員	1ページの市の管理職の課長職以上の女性の割合が、ふじみ野市の場合令和4年度が23.2%で目標値は25%となっていますが、公的機関についてはもう少し目標値を上げていってもいい

	<p>のではと思います。今後の見直しで、2023年度の世界経済フォーラムのジェンダーギャップも、こういうところが大きな問題となっています。目標値を今後検討して、上げていくことに対して、検討していきたいと思います。</p>
事務局	<p>今回の見直しにあたり、各課に照会をかけています。この部分については「ふじみ野市特定事業主行動計画」によるものになります。この行動計画の担当課は人事課であり、計画に基づいた目標値です。目標値について、どのように考えるか、今後ヒアリングを行います。</p>
大河内会長	<p>この状態は、前に決めた値なので、今後のこの会議で見直していきたいと思います。</p>
事務局	<p>今後、担当課とヒアリングする機会もありますので、審議会でこの目標値をもう少し高くしてもいいという意見があったことは伝えます。国の目標値ももう少し高いので、市の計画に基づいた目標値25%は控えめであるといえると思います。担当課も国の状況は把握していると思いますので、見直すように働きかけていきたいと思います。</p>
大河内会長	<p>ありがとうございます。他にございますか。</p>
池田委員	<p>確認です。今年度調査予定のLGBT等という言葉ですが、最近ではLGBTQやLGBTQ+と使われるのですが、このLGBT等を選ばれた理由が何かあるのですか。</p>
事務局	<p>前回の計画策定時の2018年は、このLGBTまでの概念しかはっきりしていなかったように記憶しています。今回意識調査する際にはLGBTQ等としてアンケートを実施する予定にしています。</p>
丸山委員	<p>LGBTQ等とするのか、LGBTQ+とするか、一般的な表現にしたほうがよいのか検討が必要ではないでしょうか。</p>
事務局	<p>次の議題にアンケートの件がありますので、そこでご議論いただければと思います。</p>
池田委員	<p>先ほどの話でLGBT等は以前に考えられたということでした</p>

	<p>が、LGBTQと書くことで、皆さんの理解が進むのであればそれがよいと思いました。</p>
笠谷委員	<p>市民アンケートはLGBTQとなっていると思います。</p>
大河内会長	<p>(資料1の記載内容については)ここは以前の計画はどうなっているかを説明しているところですので、このままでよいと思います。事務局の通りでよろしいでしょうか。(異議なし)</p>
大河内会長	<p>議事(2)審議会等の女性登用状況調査の結果等についてについて事務局より説明を求めます。</p>
事務局	<p>【資料2を用いて説明】</p>
笠谷委員	<p>女性登用状況が目標値に満たない理由ということで、いつもCが44%となっています。44%は険しいし、是正されていない状況ですが、説明の中で、新たな仕組みを検討していきたいということなので、一步踏み込んで成果を見守りたいという感じがします。今までも報告は聞くが、事務局は関与できないということで、非常にむなしい感じがしていたのですが、ぜひ具体的な策をもって男女共同参画の担当者が関われる仕組みを早急に構築していただきたいと思います。</p> <p>それから資料の4ページの一番下に、市町村都市計画審議会とあるのですが、末尾に「お願いしてまいります」となっていますので修正お願いいたします。</p>
丸山委員	<p>世界の経済状況から考えると、取締役女性にいない場合には、株主総会で否定されます。その理由は、イノベーションを起こすには女性の力が必要であるからです。投資家としては取締役が男性だけの場合は今後の発展はないということになります。大きな流れから考えて、0の審議会を来年度以降、市の施策の一つとして認めるかどうか検討してもよいのではないのでしょうか。ふじみ野市の市民の声を反映できるように変えていく力をつけていくためには、ある程度の強制力が必要なのではないかと感じます。</p>
事務局	<p>今回踏み込んで再調査をおこなったことで、実態が見えたことはよかったと思います。また、事務局は関与できないと書いていたところが、再調査の時には依頼文書に記載していないが、</p>

大河内会長	<p>状況に応じて口頭で関係機関に説明していきたくい変化してきましたので、再調査した意味はあったと思います。</p> <p>今までやっているからいいというのが、実は何もやっていなかったところが一歩進んだ感じがしています。「女性のいない審議会は認めない」市からそのようなことが言えるようになればよいと思います。</p>
尾山委員	<p>厳しめのことと、困っている担当課の追い風になればと思うことをお話させていただきます。最初は追い風のほうから。いつも増やしてくれと言うばかりですが、他のところでどうなのかというと、先ほどの話にでていた農業委員会では、ふじみ野市は0ですが、近隣では一人とかおられるところがあり、私は意外な感じがしました。一人おられるところは私の知り合いの弁護士さんと同じ名前の方がおられたので、そのところは定員を増やすなど何かしらアクションを起こされたのではないかと思います。ただがんばってくださいと背中をぐいぐい押されても、もう十分やっているという感覚なので、同じ回答が出ていたと思います。困っている担当課はそのようなところに、聞いていただいてはどうかというご提案です。</p> <p>次は厳しめの意見になるのですが、傍聴ですので、行ったから何か発言ができるということではないのですが、どのようになっているのかという様子がわかるあるいは市民の感覚としてやはり女性がいた方がいいのではないかと考えた人が、知り合いの議員などにお話をされるなど何か動きが出てくると思います。審議会の性質上非公開でもよいのですが、その非公開の会議の場に片方の性しかないというのは、感覚的に気持ちが悪いです。それは非公開のところこそ、そこに女性がいないとおかしいのではないかというレベルです。公正にやられていると思うのですが、偏っているのではないかという疑念を持たれる構成ではないかと思えますので、ぜひ是正していただきたいと思います。</p>
大河内会長	<p>修正が必要なこととは修正してもらい、今後、いろいろな意見を聞いて進めていけるとと思います。何かご質問等がありますか。 (質問なし)</p>
大河内会長	<p>議事（3）第2次男女共同参画基本計画の見直し方針及びスケジュールについて事務局より説明を求めます。</p>

事務局	【資料 3 及び資料 4 を用いて説明】
大河内会長	何かご質問等がありますか。(質問なし)
大河内会長	議事(4) 市民意識調査(アンケート)について事務局より説明を求めます。
事務局	【資料 5 及び資料 6 を用いて説明】
大河内会長	最初に出ていた L G B T Q 「+」にするか、「等」にするかということですが、「等」を使ったところはどこにありますか。
コンサル委託業者	これが絶対というものはないので、国や県、他市町村の資料などを見てみると、L G B T、L G B T Q と記載しているものがほとんどで、「+」まで記載しているものはほとんどありませんでした。
笠谷委員	厚生労働省あたりはどのように使われているのですか。
事務局	埼玉県では令和 8 年度までの基本計画では、L G B T Q という記載になっていて「等」の記載はありません。国の第 5 次計画を見ると L G B T までになっています。
工藤委員	いつ策定されたかにもよると思います。最初は L G B T で始まって、後に Q が追加されて、最近はそれ以上のものもあるということで「+」が追加されていると思います。今は、どこまで網羅する必要があるのですか。
笠谷委員	「等」か「+」のどちらかが入っていればよいのではないのでしょうか。
大河内会長	今年度に見直しをするのであれば、「等」か「+」を入れたほうがよいと思います。多く使われているところを事務局で考えていただいてよろしいでしょうか。
池田委員	ご本人の立場に立ったときに、私は L G B T に当てはまらない、男性、女性という言葉自体に違和感があるという回答をされているインタビューなどを学ばせていただいているのですが、その概念にすら合わないところを「+」で表現されていると

	<p>思います。このLGBTQの概念に当てはまらない自分は「等」と言われたいか「+」と言われたいかという視点に立つと、国の定義は無いと思うのですが、どこかの団体の定義などで、一般的な解釈になっているものを採用するしかないと思います。「+」なのか、「等」なのか、他の言い方なのか、当事者の方がアンケートを受け取ったときに、違和感のないものにしてもらえればと思います。</p>
大河内会長	<p>事務局で検討をお願いします。</p>
笠谷委員	<p>事務局一任でよいのではないのでしょうか。</p> <p>質問ですが、平成28年に調査していますが、回収率ほどの程度だったのでしょうか。もし前回の回収率が低いのであれば、（記入を促すための）ボールペンを入れるなど、回収率を上げるための工夫は何か考えておられるのでしょうか。</p> <p>アンケート内容について、7ページの「男の子は男らしく、女の子は女らしく」育てたほうが良いという記述が気になってホームページを調べたのですが、前時代的な表現で、最近では使われないのではないのでしょうか。私の年代では「男らしい、女らしい」とわかるのですが、今の時代においてこの表現が思い込みの土台にあるのは何百年も続いた封建主義が根底にあるということがホームページに書かれていました。このような表現を活字にすることがよいのか気になります。</p> <p>5ページの「問5 男女の役割分担について」「問6 あなたのご家庭での役割はどうなっていますか。」について、順番を入れ替えてはどうでしょうか。現状を聞いてから、あなたの考えを聞いた方がよいと思います。</p> <p>8ページ「問12 これからは、男女が協力して共に介護を担うことが求められます。」について、「男女の協力が求められます」といったような決めつけではなく、柔らかな表現がよいと思います。</p> <p>10ページ「問17-1」の選択肢「1. 希望する仕事が見つからない」と選択肢「2. 希望する労働条件が見つからない（新規）」の違いがわかりにくいです。</p>
事務局	<p>平成28年度は40.4%の回収率でした。昨年度実施された市の最上位計画のアンケート回収率が45.6%、また昨年度実施した生涯学習関係のアンケートが43.7%でした。50%を超えるアンケートは聞かないです。回収率を増やす工夫について</p>

	<p>は、資料5をご覧ください。アンケートを受け取った際に最終ページの設問番号が45と大きな数字になっていると回答意欲が薄れる懸念がありますので、今回、属性把握のところは数字ではなくアルファベットにしています。それによって「問1」のスタートが男女共同参画全般についての設問になり、設問番号を減らすことでアンケート回答の負担を減らすようにしています。あとはインターネット回答ができるようになったことと、対象を80歳未満の方に制限することで回答率を上げるようにしています。</p> <p>「問5」「問6」の順番は事務局で再度検討したいと思いません。</p> <p>「問11」については同様に「問4」で「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどう思いますか。」という設問があります。この設問は国の調査でも「男は外で働き、女は家庭を守るべきである」という考えについてどう思いますか。」という調査をおこなっています。アンケートを取ることで経年比較を見たいのでアンケートに入れていきます。</p> <p>「問12」の文言については、たしかに決めつけているところがありますので、事務局と委託業者で検討させていただきたいと思いません。</p>
事務局	<p>「問11」の男の子は男らしく、女の子は女らしく、育てた方がよいの設問についてご意見をいただきましたが、そもそも問いかけが時代遅れなのかといった趣旨のご質問の意図でしょうか。</p>
笠谷委員	<p>私の年代では違和感・抵抗感はないです。「男の子らしい」「女の子らしい」という考え方では、子どもの自由な考え方の発想をつぶしてしまう恐れがあるので、最近は「自分らしく」育てるとするのが教育の根幹になっているとホームページにも書いてありました。このような言葉を活字にするとジェンダーバイアスがかかってしまうので、男らしい、女らしいという言葉を使わない方がよいと思います。</p>
事務局	<p>世の中がとても速いスピードで変化していく中であっても、未だ家庭での子育てや学校の教育に関していかに人々に固定観念があるかないかということをあぶり出す意味で、5年前の状況と、5年間で意識が変ってきたかということを対比させたいという意図があります。</p>
丸山委員	<p>狙いは男女共同参画社会の実現なので、5年前の意識と、今の</p>

	意識を対比することによって、この件については変わっていない、男女共同参画社会への取り組みのネックになっているところをはっきりさせることがアンケートの意味だと思います。担当者がほしい情報を的確に取らないといけないので、担当者がここがほしいという情報であり、施策に活かせるのでよいと思います。
大河内会長	この「らしく」という言葉が抽象的であるので、時代の中で思っている「男らしい」「女らしい」という言葉の中身が受けとる人によって違うような気がしています。ほしい情報は、男の子は「強くたくましく」とか、女の子は「かわいらしく、愛らしく」育てた方がよいという意識を確認したいと思うのですが、若い世代は「男らしくってなに」と思う世代の方もいると思うので、抽象的すぎるのではということではないかと思ったのですが、いかがでしょうか。
笠谷委員	アンケートの設問なのでよいと思いますが、市の実施する調査で言葉として使うのはよいのかと思うところです。過去との対比が必要であればよいと思います。
尾山委員	先ほどご意見のあった「問17-1」の選択肢「2. 希望する労働条件が見つからない（新規）」については、「労働条件が希望に合わない。」といった表現ではいかがでしょうか。
笠谷委員	このままだと「選択肢1」と「選択肢2」が同じようなものになると思います。
大河内会長	「選択肢1」は職種をいっているものです。
丸山委員	「問17-1」の選択肢「1. 希望する仕事が見つからない」と選択肢「2. 希望する労働条件が見つからない（新規）」について、この設問から得られた結果を、男女共同参画社会推進の施策にどのように反映させていくための設問なのか教えてください。
事務局	働きたいが働けないという理由が、「希望する仕事、職種がない」だけでは測れないということで、選択肢2の「希望する仕事はあるが、労働条件が合わない」を新規で入れさせていただきました。この点は整理させていただきます。

尾山委員	調査票 2 ページの属性調査の「A. あなたの性別は、次のどちらですか。」になっていますが、「どちらですか」は 2 択の設問に使うもので、選択肢が 3 つあるので「A. あなたの性別は、次のどれですか。」に変更した方がよいと思います。
大河内会長	B と同じように「次のうちどれですか。」に統一した方がよいと思います。
笠谷委員	アンケート回答には結構時間はかかります。協力をお願いするしかないです。
大河内会長	検討するところは、事務局一任でよろしいでしょうか。（異議なし）
大河内会長	議事（5）職員意識調査（アンケート）について事務局より説明を求めます。
事務局	【資料 7 を用いて説明】
大河内会長	質問ありますか。（質問なし） ご協力ありがとうございました。
事務局	5 閉会 以上で審議会を終了いたします。ありがとうございました。